

第1章 加飾概論

1.1 加飾とは

加飾というテクニカルタームを聞くことがあります。この、加飾とはどのような意味なのでしょう。文字の意味するところを考えれば、飾りを付け加えることでしょう。このような意味であれば、なんらかの製品や商品やサービスなどに、飾りを付け加えて装飾性や機能や付加価値を増すことでしょう。

一例をあげてみましょう。古くからの伝統工芸の一つとしてよく知られている「蒔絵」を考えてみましょう。「蒔絵」は、漆塗りの技法の一つで、漆器の表面に漆を塗り、それが乾かないうちに金属粉を「蒔く」ことで固定する技法です。このような手法で、漆器の表面に美しい柄を付けます。これは一つの加飾です。「蒔絵」によって、漆器は美しく飾られて、その価値はさらに大きくなります。

もう一つ、「螺鈿」という技法も知られています。これは、漆器の表面に夜光貝や鮑貝の貝殻を文様の形に切り出したものを貼付けて加飾する技法です。「螺鈿」によって、漆器は美しく飾られて、その価値はさらに大きくなります。

このように考えると、加飾がどのようなものか概ねの理解が得られると思います。一般的には次のように理解できるでしょう。

加飾とは、器物などの表面に様々な工芸技法、工業技術、化工技術などを用いて装飾を加えること、またその装飾のこと。